1講座 説明文の読解 基本

学習日　月　日

ポイント

1 話題をとらえる。 ① 書き出し　② 繰り返し出てくる言葉 ―― に着目する。

2 指示語の指し示す内容をとらえる。 ・原則、指示内容は前にある。

① 指示語が文頭にある場合	直前の文や段落に着目する。
② 指示語が文中にある場合	同じ文の前の部分に着目する。

3 接続語のはたらきをとらえる。 ・前後の内容の関係をとらえる。

① **順接**　② **逆接**　③ **並立・累加**　④ **対比・選択**　⑤ **説明**　⑥ **転換** ―― いずれの関係で結びついているか。

4 段落相互の関係をとらえる。

① 各形式段落の中心文を押さえ、段落の要点をとらえる。

② 段落冒頭の指示語や接続語に着目し、要点のつながり方を押さえる。

5 文章構成をつかみ、要旨をとらえる。

① 説明文では「**問題提起→具体的事実→結論**」という流れを押さえる。

② 話題をふまえ、結論部分の中心文から筆者の述べたいことをつかむ。

◆ **次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。**

1 動物たちはどうやって春の訪れを知るのだろうか。

2 暖かくなったと思えばまた雪がちらつく、という日々を繰り返しながらも、やはり着実に高まってゆく気温が、何にもまして春の予告となることは確かである。けれど、われわれにとって春が楽しいのは、①それが長い冬のあとに訪れるからである。②これと同様に、動物たちにとっても、単なる暖かさが春を意味するわけではない。冬の寒さを経たのちであってこそ、暖かさが春の意味をもつのである。寒さに先立たれない暖かさは、単に夏の連続に過ぎない。春夏秋冬という季節のある温帯に住む動物たちは、われわれと同じ、いや、もっと深刻な季節感を身につけているのだ。

3 けれど、気温というものはあまりたよりになる指標（めじるし）ではない。春の初めにはしばしば寒さがもどってくる。その点、地温はずっと信頼度が高い。

4 カエルやそのほかの、地中で冬を過ごす動物は、地温が一定の高さに達すると外へ出てくる。まだ肌寒い二月の末に、はやくも冷たい池に群がって愛し始めるヒキガエルやアカガエルたちは、地温の上昇に対してきわめて敏感で、[A]、きわめて一様な反応をしているのである。

5 春が近づいても気温がなかなか高まらず、ある日突然に春がたけなわとなって、たちまちにして夏に移行してゆく山地や北方では、事態は動物にとってもっと深刻である。暖かくなってから活動を始めたのではおそ過ぎるのだ。そのようなところに住む動物では、温度だけでなく日長（にっちょう）（昼の長さ）も指標として使うものが多い。

6 短い冬の日は、春の接近とともに確実に長くなってゆく。たとえもどり雪が降ろうと、寒い風が吹こうと、日の長くなったことはまぎれもない春の予告である。

7 動物たちの体は、春の支度にとりかかる。小鳥の卵巣は成熟をはじめ、雄はさえずり出す。虫のさなぎの内部では、チョウの体の仕上げが着手され、まだ冷たい風の中でゆっくりと、[B]着々と完成へ向かう。いよいよ名実ともに春が訪れたとき、彼らは一斉に舞い出すのだ。特に小鳥では、日長だけで春を知るものが多い。*恒温動物である彼らにとっては、そのほうがより確実なのだろう。

〈日高敏隆（ひだかとしたか）「春の動物」より〉

＊恒温動物＝外界の温度が変わっても、ほぼ一定の体温を保つ動物。

(1)〈**話題**〉 この文章は、何について説明したものか。それについて述べた次の文の[　]にあてはまる言葉を、文章中から七字で抜き出して書きなさい。

・動物たちが[　]指標について説明している。

[　　]

(2)〈**指示語**〉 ――線①「それ」は、何を指しているか。文章中から抜き出して書きなさい。

[　　]

(3)〈**指示語**〉 ――線②「これ」は、何を指しているか。次から適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア われわれにとって、春は冬よりも楽しいものであること。

イ 気温が、何にもまして春の予告となること。

ウ 人間にとって、春は、冬を経たのちに訪れるからこそ楽しいものであること。

エ 単なる暖かさが春を意味するわけではないこと。

[　　]

(4)〈**文脈理解**〉 3段落は2段落に対してどのような関係になっているか。次から適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア 2段落の内容を、具体例を挙げてわかりやすく説明している。

イ 2段落の内容を部分的に否定し、新しい内容を提示している。

ウ 2段落の内容をさらに掘り下げ、別の角度から説明している。

エ 2段落の内容とは話題を変えて、新たな問題を提起している。

[　　]

(5)〈**接続語**〉 [　]A・Bにあてはまる言葉をそれぞれ次から選び、記号で答えなさい。

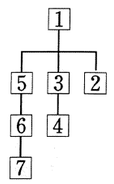
ア しかし　イ しかも　ウ あるいは

エ だから　オ つまり　カ そこで

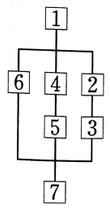
A [　　]　B [　　]

(6)〈**文章構成**〉 この文章の構成を表す図として適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

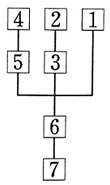
ア



イ



ウ



[　　]

(7)〈**段落の要点**〉 この文章で述べられている内容としてあてはまらないものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 動物たちにとっては、冬の寒さがあって初めて春の暖かさが意味をもつ。

イ 動物たちにとっては、気温の変動は春の予告となりえない。

ウ 動物たちにとっては、気温よりも地温のほうが、春の訪れを知る指標として信頼度が高い。

エ 山地や北方に住む動物にとっては、気温だけが春の訪れを知る指標となる。

オ 恒温動物である小鳥には、日長によって春の訪れを知るものが多い。

[　　]

(8)〈**要旨**〉 この文章の要旨をまとめた次の文の[　]にあてはまる言葉を、それぞれ文章中から一語で抜き出して書きなさい。

・動物たちは、[a]や[b]や[c]によって春の訪れを知る。

a [　　]　b [　　]　c [　　]

これを覚えて5点UP 意味段落のまとまりは、各段落に共通して用いられている言葉に着目する。